

2026 年度 一次募集外国語試験試問題の出題意図

【入試種別】 博士課程（一次募集）

【問題Ⅰ】 共通外国語問題

【出題の意図・評価ポイント等】

長文読解を通じて、医療のトピックを扱った英文を正確に読み解き、筆者の主張や要点を的確に分析する能力を問うものである。また、文法・語彙の知識を文脈の中で応用する力を問う。

【問題Ⅱ】 医療薬学領域

【出題の意図・評価ポイント等】

本設問は、ADC の基本構造と作用機序を理解しているかを確認するとともに、その利点と課題について説明できる能力を評価することを目的とする。また、腫瘍不均一性や薬剤耐性、忍容性といった ADC 開発における重要な問題点を理解し、英文から適切に情報を読み取る力を確認する。さらに、次世代 ADC 開発に必要な技術的課題や研究の方向性について考察できる能力を評価する。特に、抗がん薬開発の最新動向を理解し、臨床応用につなげる視点を身につけているかを確認する。

【問題Ⅲ】 薬学臨床領域

【出題の意図・評価ポイント等】

近年の臨床研究の動向（地域参加型研究や患者中心のアプローチ）に関する英文を正確に読み解く基礎的な読解力を確認する。

あわせて、医療・公衆衛生の現場において、地域薬剤師の役割や、住民を対象とする研究特有の「倫理的課題（インフォームド・コンセントの理解や力関係への配慮など）」を文章からの的確に抽出・要約できる、実践的な医療倫理の素養と思考力を評価する。

【問題Ⅳ】 生物・予防薬学領域

【出題の意図・評価ポイント等】

長文読解を通じて、医療のトピックを扱った英文を正確に理解し、筆者の主張や要点を的確に分析する能力を問うものである。また、大学院で薬学を学ぶにあたって必要となる微生物学に関する基礎知識や専門知識の修得状況を確認する。

【問題Ⅴ】 創薬化学領域

【出題の意図・評価ポイント等】

創薬におけるキラル化合物の開発動向や現状、不斉合成技術の進歩により単一エナンチオマー医薬品の開発が増加したことなどが英文で書かれている文章で

ある。創薬における基礎的な単語（不斉合成やエナンチオマーなど）や文章構成となっており、創薬領域の英語の基礎学力を測ることを意図している。